



# いわいずみ

## シリーズ キラッと光る人 ①

小川で酪農に励む内村貴喜さん(32歳)です。3年前に牛舎を新築し、現在37頭のホルスタインを飼育。酪農の発展を目指し、毎日頑張っています。

【関連 16頁】

P2 地域の学び舎 安家小を閉校

P4 消防団員の処遇を改善

P7 町の考えを問う(8議員が一般質問)

P14 シリーズ / 公共交通を考える  
パート3 先進事例を探る



高館 颯也 さん (6年)

将来の夢 **自衛官**

台風10号で被災し、自衛隊の人にお世話になりました。自分も将来、人の役に立つ仕事に就きたいと思ったからです。

川口 唯芽 さん (6年)

将来の夢 **大工職人**

父の仕事を見学した時、父が力強く木材を組み上げていて、とても素敵な仕事だと感じたからです。



上日向峻輔 さん (5年)

将来の夢 **漁師**

テレビ放送などを観て、大間のマグロ一本釣り漁師にあこがれています。

### 児童の声

統合後の新しい学校での生活は、今まで何回か交流会を行っているので不安は感じていません。それより一日でも早く友達に会いたいです。

通学は、今も全員15分から30分のバス通学なので、不安はありませんが、起床時間が今までよりも約1時間早くなるので寝ぼろが心配です。

**問** 緊急時などに利用する校庭の整備は、

**答** 教育委員会に申し込むことで利用できる。

**問** 閉校後、体育館や屋外運動場は一般利用可能か。

**答** 会計年度任用職員を雇用し整備、管理する。

**問** 教員住宅の使用は、

**答** 2棟のうち1棟が空く予定。もう1棟は教員の転任先によるが、町内への異動で

## 校舎 閉校後の一般利用は 申し込むことで可能

あれば引き続き入居したいとの意向を確認している。

**問** 空く予定の教員住宅は、地域おこし協力隊など一般住民が利用できるよう、事務的な整備を進める考えはないか。

**答** 今後の活用や管理の方法などを、担当課間で協議・検討していく。

### 保護者の声



高館めぐみさん (安家)

登下校の時間が今までとはだいぶ違うので、年間を通じて心身ともに健康を保てるか心配です。子どもたちの家が反対方向で、送迎バスの運行管理も心配しています。



# 地域の学び舎 安家小を閉校 小学校は5校に

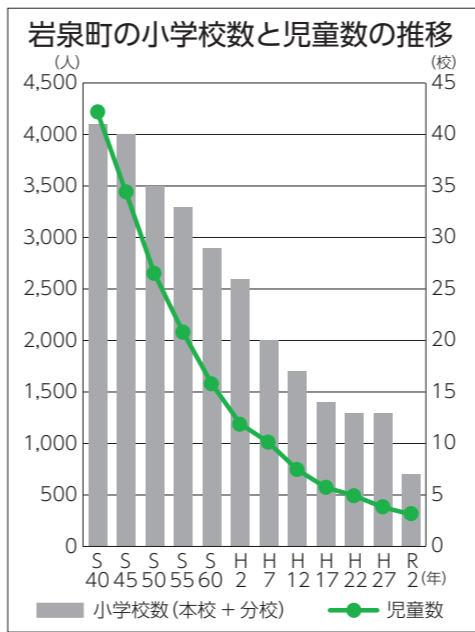
素敵な夢を聞かせてくれた、安家小学校の児童3人

12月定例会は、12月8日から13日までの6日間の日程で開きました。一般質問には8議員が登場。町政運営の基本姿勢や課題をたどりました(質問の内容は7ページから11ページまで)。町長から提案のあった「岩泉町立学校設置条例」の一部改正や補正予算など議案13件、議員提出議案1件を全会一致で可決。その他、請願1件を採択(詳細は6ページ)しました。

### 147年の歴史に幕

安家小は明治9年3月に創立し、ピーク時の児童数は昭和39年、40年の167人。大幅な児童数の減少に伴い、地域の同意を得て岩泉小への統合が決まったものです。

本年3月末に安家小(山本一行校長、児童3人)を閉校し、4月から岩泉小(吉田浩規校長、児童170人)に統合とする町立学校設置条例の一部改正を可決しました。



(※) 岩泉小、釜津田小、小川小、有芸小、小本小

## 龍泉洞周辺の用地取得可決



用地取得した場所の現在の様子

龍泉洞周辺の用地取得の議案が提出され、可決しました。町の中心的観光地である龍泉洞。園地の再整備構想を検討する中で、土地の取得は、不動産鑑定士による鑑定評価に基づき算定した額で行います。

\*取得価格 1億1123万円

\*取得面積(計4筆) 6866・01㎡

で、永続的な経営環境づくりが必要と考え、購入するものです。県道から北側(旧龍泉洞観光会館周辺)の箇所、合計4筆を取得しました。



電気料金が約2倍に高騰する菌床しいたけ栽培

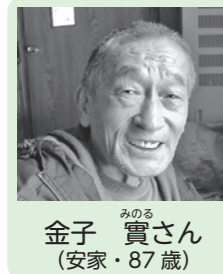
**問** 新規事業(※)が経営効果に表れるのはいつか。  
**答** 原材料の購入補助は、本年度交付。バイオマスボイラーは来年7月頃に設置予定で、秋以降の灯油削減に効果が出ると思われる。

**問** 廃菌床が燃料のバイオマスボイラーを導入し灯油燃料使用量を削減する事業費は3009万円。  
**答** 本年度から4カ年事業として実施。ホダの浸水作業回数削減、自動袋折り機は導入済み。廃ホダ活用システムは本補正予算で計上。ヒートポンプ導入は財源を確保し来年度から計画的に整備をする予定である。

**問** 民間で頑張っている菌床しいたけ栽培事業者もある。状況把握と支援はどのように考えるか。  
**答** (株)岩泉きのこ産業の他に1社ある。そちらの経営状況も相当厳しいと把握している。今後財源など確保しながら具体的に考えていく。【関連12】

**問** 小川複合施設の基本設計のスケジュールは。  
**答** 4年内に入札し、年明けから着手したい。3月までには地域への説明も行う。

**問** 施設配置の考え方は。  
**答** 支所の通常業務などを考慮し、イベント開催にも配慮した設計にする。



**まずの声** きのこ産業は貴重な就労場

安家地区は働く場所が少なく、きのこ産業は地区に無くてはならない貴重な就労の場です。今後は他にはない特色ある作物を考えていかなければならないと思います。

金子 実さん (安家・87歳)

**菌床栽培** 民間事業者への支援は財源を確保し支援する

※新規事業の概要

- （株）岩泉きのこ産業支援 活用実証
- バイオマスボイラーの導入
- 廃菌床が燃料のバイオマスボイラーを導入し灯油燃料使用量を削減
- 事業費 3009万円
- 特用林産物の原材料購入費へ補助
- エネルギー・物価高騰策で、原材料のおが粉購入費を3分の2補助
- 事業費 1248万円

消防団員の処遇を改善 団員の報酬など引き上げ



地域住民を守るため訓練に励む消防団員 (第5分団)

条例補正予算等審査特別委員会(二田地泰正委員長)は12月13日、付託された条例6件、補正予算5件、財産の取得1件を慎重に審査。来年度から引き上げられる消防団員の報酬などに質疑がありました。ここでは、特別委員会の審査の中からいくつかの内容を要約してお伝えします。

**消防団** 報酬増で活動に違いは活動は基本同じである

**問** 費用弁償(※)から出動報酬になり、額も増額している。今までの活動と違いはあるのか。  
**答** 大きな変更点は、災害が災害以外かで報酬を分けている。基本的に活動はこれまでと同じである。

**問** 団員確保、増員への対策は。  
**答** 本年度から報酬を団員個人へ直接支給。来年度から報酬の引き上げによる団員確保。

団員の報酬：年額報酬と出動報酬

職名	年額報酬の額	(変更前)
団長	140,000円	
副団長	96,000円	
団付分団長(新設)	68,000円	
分団長	68,000円	
副分団長	53,000円	
部長	41,000円	
班長	37,000円	30,000円
上記以外の団員	36,500円	24,000円
機能別消防団員	12,000円	

出動区分	出動報酬(1日につき)
火災 4時間以上	8,000円
火災 4時間未満	4,000円
火災以外の災害	8,000円
警戒、訓練、その他の活動	2,000円

※職務で出張したときに支払われる旅費

**複合施設** 施設の配置はどうする イベント開催にも配慮



賑わいを見せた小川炭鉱ホルモンまつり

その他の主な補正予算

- 中小事業者エネルギー高騰へ支援 2673万円
- エネルギー価格高騰の影響緩和のため中小事業者(農林水産業を含む)に支援金を給付。
- サケ種苗放流へ補助 243万円
- サケの栽培漁業の持続化を図るため、種卵確保と改良餌(稚魚の大型化)の小浜漁協負担額に補助。
- 龍泉洞園地の環境整備工事 182万円
- 龍泉洞の園地整備のため取得する土地周辺の支障木を伐採。隣接地と町の境界に、侵入防止の標識を設置する。

**まずの声** イベントなどに考慮した施設に

施設の老朽化が進み、建て替えを心待ちにしていました。皆さんが使いやすい集えるような、そしてイベントなどに考慮した施設になれば良いと思います。



田代 久枝さん (小川)

議決された議案の一覧は町のホームページで確認できます。



**まずの声** 新入団員の増に繋がることを願う

今回、報酬の増額を聞き、良いことだと思います。個人支給に切り変わったことを含め、各種災害対応に当たる新入団員の増員に繋がることを願っています。



澤口貞治さん (小川・52歳)

次は、飼料高騰などに継続的な支援を

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問をたずねること。報告や説明を求めることです。

12月定例会では8人の議員が登壇し、一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁を要約した内容（8ページから11ページ）を登壇順（質問順）にお知らせします。

8人の議員が登壇

一般質問

町の考えを問う

三田地久志 議員 (8ページ) ◆帯状疱疹ワクチンに補助を

坂本 昇 議員 (8ページ) ◆バス送迎の安全対策を
その他の質問
\*子ども園関連 \*出産祝い金の増額 \*児童生徒のマスク着用

富山 昌典 議員 (9ページ) ◆まちづくりチーム結成を
その他の質問
\*役場庁舎の整備 \*小川複合施設の整備

合砂 丈司 議員 (9ページ) ◆町道奥岩泉線の整備を

早川ケン子 議員 (10ページ) ◆困りごと相談の対応を

千葉 泰彦 議員 (10ページ) ◆産業振興の実施計画は

林崎亮次郎 議員 (11ページ) ◆肥料・飼料の高騰策を
その他の質問
\*全ての中小業者への支援策を

富山 和英 議員 (11ページ) ◆今後の物価高騰対策は
その他の質問
\*酪農家への支援策 \*菌床きのこ栽培業の対策 \*県道大川松草線の整備

一般質問全文は、町ホームページで公開しています。



飼料高騰などに継続的な支援を

請願 1件を採択

12月定例会に提出された請願1件を産業常任委員会（三田地久志委員長）に付託。審査の結果、採択と決定しました。

請願の名称
酪農情勢悪化に関する請願



酪農を存続できるように継続的な支援を早急に

請願人
JA新岩手酪農生産部会宮古支部 支部
長兼岩泉地区代表
山崎敏
紹介議員
三田地泰正議員
付託先
産業常任委員会
請願事項
①配合飼料高騰に対し、継続的な支援をすること（配合飼料の価格が令和4年4月以前の水準になるか、乳価が持続可能な価格に値上げするまで）
②自給粗飼料生産での化成肥料とビニールなど資材高騰に対し、来年度以降の継続的な支援をすること（化成肥料・ビニールなど資材の価格が令和4年4月以前の水準になるまで）

資材高騰へ対策を
求める意見書可決

議員発議で提案
全会一致で可決
昨年以降、国際的な原油価格の高騰や急激な円安などで、一次産業を中心に資材高騰が深刻化。肥料・飼料価格高騰対策等に関する意見書を、議員発議で提案し全会一致で可決しました。

意見書の要望事項

①緊急対策の柱として、肥料・飼料高騰対策を関係機関やメーカーと連携して推進すること。肥料・飼料の価格高騰時に対応するセーフティ・ネットの構築も検討すること
②国産農畜産物の再生産が確保できる、適切な価格形成の実現に向けた仕組みの構築と国民への理解

意見書の提出先

内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣、衆議院・参議院議長

醸成を図ること
③農林水産業の後継者の高齢化や減少によって、地方が衰退しないよう「みどりの食料システム戦略」を強化すること
④食料安全保障の強化の観点から、生産資材全般の安定供給の確保と価格の安定化に向けて、備蓄も組み合わせた供給体制の確立と万全な予算確保を強く求める。
特に、国が創設した肥料高騰対策は、急激な価格高騰に対応しうる十分な予算の確保と多くの生産者が活用しやすい事業とすること

ますの声 増産から一転し
需要減少で窮地



山崎 敏さん (小本・43歳)
国の勤めていた増産から一転、需要減少と物価高で経営は窮地です。少しでも牛乳やヨーグルトを食べていただき、消費者、岩泉ホールディングスと一緒に乗り越えたいです。

ほしえてぴーちゃん



意見書…住民の代表機関としての議会の意思を意見としてまとめた文書のこと。地方自治法に基づいて、国会または関係行政庁に対して提出することができます。
みどりの食料システム戦略…持続可能な食料システムの構築に向け、調達・生産・加工・流通・消費の各段階の取り組みと環境負荷軽減の改善を推進すること。



畠山 昌典議員

一般質問・答弁  
全文はこちらから



**問** 町では未来づくりプランの中で、ふるさと創造企画、関係人口の拡大をうたっている。町の魅力を再認識し最大限に発信すること、産業の振興や地域づくり・観光・イベントなど広範囲に検討、

### 問 まちづくりチーム結成を

### 答 調査研究が必要と考える



地元有志で運営している小川みづまつり

実践するチームを結成し、持続可能な町づくりに着手すべきでは。町長 関係・交流人口の拡大は、町において重要な取り組みと認識し、重点プロジェクトの一つに位置付けている。近年、厳しい状況が続いているが、町民

に協力いただきイベントや観光誘客、多様な移住定住対策に取り組んできた。まちおこし検討・実践チームの結成は、多様な主体の参画により、それを実践できる可能性はあるが、さまざまな角度で調査研究が必要と考える。

17文字のひとりごと

まちおこし  
持続可能へ  
待ったなし！



三田地久志議員

一般質問・答弁  
全文はこちらから



### 問 带状疱疹ワクチンに補助を

### 答 国の動向を注視し検討する

**問** コロナ禍において、ストレスや運動不足により高齢者の带状疱疹が増えている。町長は岩泉町地域福祉計画で、町民が健康に生活するため、健康・保健・医療の充実を基本方針に掲げている。この基本方針のもと、町民の健康を考えた带状疱疹ワクチンへの補助を検討すべきではないか。

ワクチン接種は、町民の健康を守る選択肢の一つにもなる。国における審議の動向などを注視し、医療関係者や町の健康づくり推進協議会の意見も伺い、総合的に検討していく。

町長 現在、国では、厚生科学審議会で、带状疱疹ワクチン接種を定期接種に加える検討



任意の予防接種に対する補助の検討を

17文字のひとりごと

守ります  
健康寿命  
ワクチンが



1.5車線化が済んだ箇所（県道普代小屋瀬線）

**問** 町道奥岩泉線は、台風10号災害時にう回路として利用できた。命を守る道路として整備

町長 大坂本地区北側から大規模林道八戸川

### 問 町道奥岩泉線の整備を

### 答 整備し利便性を高める

内線までの約4キロの区間が未舗装。本年度、約2キロを切削材で舗装整備した。今後、同様に整備し、利用者の利便性を高めていきたい。

町長 1・5車線化の整備区間は10カ所の計画で、完成箇所は2カ所のみである。残る計画箇所の早期整備と併せ、4年8月の大雨で冠水し一時通行止めとなった区間の嵩上げ整備についても、強く要望していく。



合砂 丈司議員

一般質問・答弁  
全文はこちらから



17文字のひとりごと

う回路の  
道路整備を  
早急に



坂本 昇議員

一般質問・答弁  
全文はこちらから



17文字のひとりごと

子どもらの  
安心安全  
気配りを

### 問 バス送迎の安全対策を

### 答 マニュアルを定め徹底

**問** 園児・児童の痛みしいニューバスが多い。スクールバス送迎の徹底した安全マニュアルを定めているか。

町長 県や町の担当者と学校で情報共有し、学校から保護者へ周知徹底を図っている。児童生徒へ登下校の指導もしている。

ム機で、視力などの発達段階に支障がないようどう指導しているか。

教育長 定めている。各学校とスクールバスの運行委託事業者に周知し、校長会議でも確認している。

**問** 通学路の工事に伴う安全指導は。

教育長 使用時に目と端末画面を離すこと。30分に1回休憩することと就寝前の利用を控えるよう指導。児童生徒の日常の観察や状況把握に努めている。



置き去り事故がないよう確認を徹底（岩泉中）



肥料・飼料の高騰へ早急な支援を

### 問 困りごと相談の対応を 答 連携し保健活動を充実

**問** 食事や生活の困りごとの相談対応に、保健師・栄養士は地域に入ってもらえないか。

**町長** 地域活動の中で心配な高齢者の情報や町民の困りごと相談など、保健師や栄養士と関係機関が連携して地域に入る「重層的な支



保健師への相談は安心につながります

援」を行っている。今後も、高齢者や住民が安心して生活できるように、町と関係機関が連携し、役割分担しながら保健活動を充実していきたい。

**問** 冬場は除雪バスターなどボランティア

や見守り活動が重要。活動する団体への助成や養成を行っているか。  
**町長** 見守り支援など地域支え合い団体へ活動費を助成。関係機関と情報交換し、団体拡充など課題や方向性を調査研究したい。



早川ケン子 議員

一般質問・答弁  
全文はこちらから



17文字のひとりごと

ふきのとう  
仲間同志が  
春を待つ



林崎竟次郎 議員

一般質問・答弁  
全文はこちらから



17文字のひとりごと

このままじゃ  
酪農畜産  
マジやばい

置を今すぐとるよう国に要請し、本町もできる支援を直ちにすべきと考えるがどうか。

**問** 国は酪農・畜産支援で配合飼料価格安定制度の補填を行うとしているが、補填は一部に過ぎない。不足分が全て酪農・畜産家への

しかかる。本町の特産品である岩泉ヨーグルトや短角牛の危機ともなる。  
**肥料・飼料の高騰分全てを補填する緊急措**

町独自の支援策は、4年7月、11月の補正予算で農業支援策を行った。国・県の動向や農家の経営状況に注視していきたい。

### 問 産業振興の実施計画は 答 後期総合計画で具体化

**問** 観光は幾つか市場がある。旅行商品の企画立案、誘客など観光振興の中期の実施計画が必要ではないか。

**町長** 実施計画は、未



千葉 泰彦 議員

一般質問・答弁  
全文はこちらから



17文字のひとりごと

産業は  
救済プラス  
振興も

**問** 農業は救済策以外に振興計画が必要ではないか。

**町長** 後期基本計画の「具現化する取組」に以下3点を予定。農地の集約化と基盤整備、水田の畑地化や6次産業化を見据えた新たな作物の振興、地消地産と地域内経済循環の推進。実施計画に事業推進の役割分担やロードマップを明示し、住民主体型で進める。



みちのく潮風トレイル：観光振興も町の重要な課題です

**問** 6次産業化も実施計画が必要ではないか。

**町長** 6次産業化は、個人や組合の加工製造も想定し計画する。

### 問 今後の物価高騰対策は 答 町独自の支援策を行う

に加え、町単独での支援策を行う。困っている人へ支援が行き届くよう取り組む。

**問** (株)岩泉きこの産業の経営課題への対応は。

**町長** 製造コストを大きく占める、電気や灯油の経費削減対策が喫

緊の課題である。廃菌床を活用するバイオマスポイラーの実証事業導入や来年度からヒートポンプエアコンを計画的に整備する。代替エネルギーの導入研究、経営体制の整備・強化など、町でも思いきった支援策を考えていく。

**問** 酪農や菌床しいたけ栽培などは今までの桁違いの深刻な状況である。今後、町の物価高騰・経済対策をどう進めるか。



大幅に生産コストが上昇：(株)岩泉きこの産業



畠山 和英 議員

一般質問・答弁  
全文はこちらから



17文字のひとりごと

残さねば  
深刻さ増す  
地場産業

次は、出産・子育て応援金を給付

田舎館村では、昭和62年に「田舎館村むらおこし振興協議会」を

観光名所がなくても村の原点「稲作」で

平成5年から、田んぼに色の異なる稲を植え巨大な絵を描く「田んぼアート」を開始。平成29年度の「第11回産業観光まちづくり大賞」で観光庁長官賞に輝いています。



城のような村役場に田んぼアートの展望台があります

青森県田舎館村は、津軽平野の南側に位置する人口7434人、面積22・35平方キロの村です。

結成。産業振興や地域づくり、観光・イベントなど広範囲な分野にわたり検討を重ねてき

平成5年、昔ながらの手作業での「稲作体験ツアー」を開始し、

「田んぼアート」でむらおこしに取り組む青森県田舎館村（鈴木孝雄町長）で、地域活性化策の調査を行いました。

青森県田舎館村

アイデア一つでむらおこし実践

ました。目玉になる観光名所がなく、村外からの集客が課題でした。そこで、村の原点に立ち返り思い付いたのが「稲作」によるむらおこし。村には弥生時代の水田跡があり、良質米の生産地でもありました。

全国的に注目集め毎年多くの観光客

全国的に注目を集め、国内外から毎年多くの観光客が訪れ、平成19年度には24万人が訪れました。村内の観光施設などの集客も増加しています。経済効果や関係人口への影響は多大なものになっています。

【所感】

観光資源の乏しかった村でも、アイデア一つで多くの交流人口を呼び込める施策の展開は、わが町でも手本にするべきと感じました。今後の施策提言に生かしていきます。（畠山昌典）

4年第6回臨時会は12月27日、国・県の補正予算に対応する出産・子育て応援給付金などの補正予算を審議するため開きました。

町長から提出された4年度一般会計補正予算第8号を全会一致で可決。

ここでは、審議の中からいくつかの内容を要約してお伝えします。

第6回臨時会

出産・子育て応援金を給付



笑顔で子育てできる環境づくりを。佐藤葵ちゃん（岩泉・4歳） 紬ちゃん（1歳） 律くん（3歳）

子育て申請なく支給できないか確認するため申請が必要

問 出産・子育て応援給付金は、既に町の出産祝い金をもらっているにも支給されるか。

答 出産祝い金とは別の事業であり支給される。既に出産した人は妊娠応援金5万円と子育て応援金5万円が同時に支給される。

問 町で該当者を把握できる。申請不要で支給できないか。

答 現状を確認のうえ支給するため申請が必要である。妊娠・出産の届出がされた時点で連絡し、速やかに支給したい。

畜産 頭数当たりの支援理由は速やかな補填とするため

配合飼料の価格高騰対策支援金追加支援の内容

Table with 3 columns: 区分, 追加支援, 参考: 11月補正予算. It details support amounts for dairy farmers based on feed prices.

由は。

答 昨年度と本年度の1頭当たりの利益率を比較し、十分な補填となるように変更した。より速やかに交付するため1頭当たりとした。

問 上限が100万円であるが、上限を超える事業者はあるか。

答 現在のところ対象はない。

その他の主な補正予算

菌床しいたけ生産事業者への経営支援 1697万円

町内の菌床しいたけ生産事業者へ、4年度分と3年度分の電気料金を比較し、高騰分を3分の1以内の額で支援する。

\*対象事業者 (株)岩泉きのこ産業、株式会社ミナカワ

【関連5ページ】

小中学校のスクールバスに安全装置を設置

400万円 児童生徒の送迎車両に置き去り防止装置を設置。エンジン停止時にブザーが鳴り、運転手が車内確認後に停止ボタンを押すもの。

▽5年4月から、小学校未満の送迎バスなどへの安全装置設置が義務付けとなります。

子どもたちの居場所づくり

NPO 法人 プラットホームあおもり



秘密基地のような素敵な居場所です

総務常任委員会は11月18日、特定非営利活動法人プラットフォームあおもりの米田大吉理事長で「子ども第三の居場所事業」(※)への取り組みを調査しました。

地域で子どもたちの居場所をつくることで「地域で暮らすみんなが、みんなの子どもたちと育てあう」地域社会を目指しています。利用料金は原則無料です。

地域で育て合う社会

「子ども第三の居場所事業」は、日本財団が全国各地に開設してきました。

青森市の拠点は、NPO法人プラットフォームあおもりが運営主体で開所しています。

【所感】

放課後児童クラブ運営などへのさまざまなヒントがあります。子ども食堂を含め、高齢者との交流支援など町の事業へ生かしていきます。（坂本昇）

(※) 日本で暮らす全ての子どもたちが未来への希望を持ち、これからの社会を生き抜く力を育むことを目的とする。困難を抱える環境にある子どもたちが対象。

次は、公共交通を考える



支え合う地域づくりで移動手段を確保

# シリーズ 公共交通を考える

## パート3 先進事例を探る

本町の公共交通は、JRバスや町民バスのほか、各振興協議会で取り組む二次交通（※1）や交通空白地有償運送（※2）など、地域の支え合いの中で成り立っています。人口減少や高齢化など、社会変化に対応した仕組みづくりとは。シリーズ公共交通を考える。本号は、先進地の取り組みから、ヒントを探ります。

広報広聴常任委員会（千葉泰彦委員長）は12月16日、宮城県石巻市の日本カーシェアリング協会（吉澤武彦代表理事）で、車をシェアして支え合う仕組みを地域につくる「コミュニティ・カーシェアリング」の調査を行いました。

した会員の人たちが車を共同で活用します。地域づくり活動には、外出支援や乗り合いでの買い物ツアーなどがあり、移動に困っている人も助かっています。

**特徴3**  
利用した頻度で経費実費を分担

利用の際、一時的に預かる金額（以下、預り金）などルールを作り、そのお金で運営。利用頻度に応じて、経費実費を分担し利用者が負担します。預けたお金は定期的に精算しながら運営しています。

**\*サロン活動**  
**\*ツアー活動**  
**\*外出支援活動**

この3つを組み合わせた仕組みが  
**コミュニティ・カーシェアリング**



質問に回答する吉澤代表理事

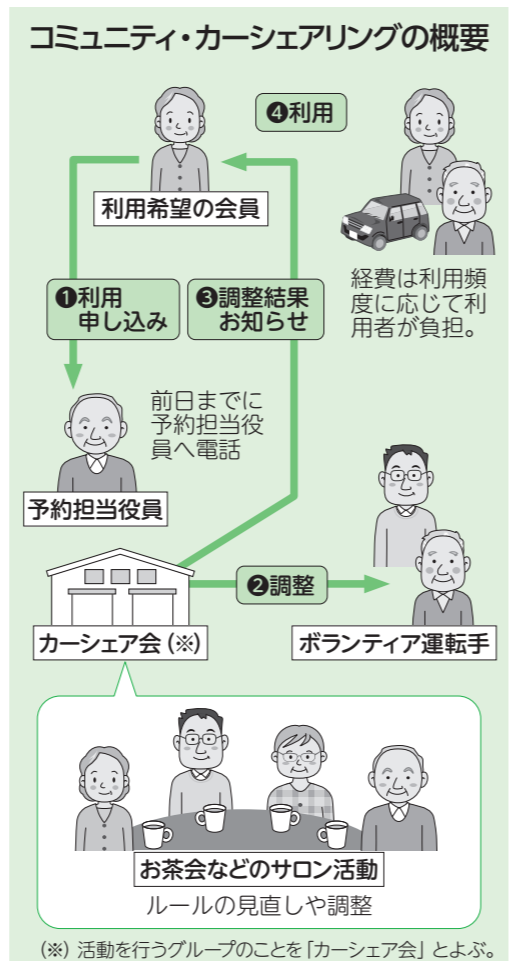
（※1）複数の交通機関などを使用する場合の2種類目の交通機関  
（※2）十分な輸送サービスが確保できない地域で、特定非営利組織などが行う輸送サービス

### 前向きな姿勢で支え合いを推進

日本カーシェアリング協会での調査後に、実際に活動を行っている渡波カーシェア会の「おちゃっこ」（サロン活動）に参加させていただき、利用者の声を聴きました。

ライバー4人含む）。平均年齢は80歳です。月に1回おちゃっこを開催。見守り支援担当の役員による見守り・声かけ支援も毎月行われています。主に通院のための送迎支援や月2回の買い物ツアー、年4回のお出かけツアーなど、会員の皆さんが意欲的に活動をされています。できる人が無理なく手伝う。皆さんが前向きな姿勢で、楽しみつつ

つ支え合う地域づくりを推進していました。外出支援の預り金は、ルールで5歳毎に500円としていきます。会の継続と利用のしやすさを考えて、おちゃっこで意見を出し合い決めます。利用者からは、タクシーなどを利用すると数千円かかるため、預



り金は安価で助かるとの声がありました。

### 運営上の課題はドライバー不足

常に対応できるボランティアドライバーは、3年度4人でしたが、4年度は1人。ワゴン車を運転できるドライバースが不足しているため、お出かけツアーのときは他のカーシェア会からドライバーを借りて対応していました。

### 「所感」

公共交通については、議員活動として調査研究してきました。一方で、課題解決には広く課題共有が重要と痛感。町の担当課と関係機関、町民向けの研修会も企画しました。そのような中、本年度の議会だよりでシリーズのテーマに決定しました。

シリーズの1回目では、町の交通について町民から聞き取りを行いました。2回目は、岩泉町の公共交通の変遷を、人

□や利用状況と併せて振り返りました。本号が3回目。委員会として、先進的な取り組みの視察調査を実施しました。

国の制度も活用する仕組みの「コミュニティ・カーシェアリング」。全ての担い手が激減する本町で、地域の支え合いをどう維持するか。交通課題に対して、新たな視点を。次号の最終回は。多角的に議論を重ねていきます。

（千葉 泰彦）



お出かけツアー、楽しいです



外出支援が助かると話す渡波カーシェア会の皆さん



# 町の未来を考える

## 小川小児童が提案

10月28日、小川小（米川聡校長、児童55人）の6年生16人がミニ学習発表会を行いました。「私たちにできること」岩泉の未来を考える」と題し、社会科の学習で調べた町の問題と子どもたちが考えた町づくりを提案。発表後に議員と意見交換を行いました。

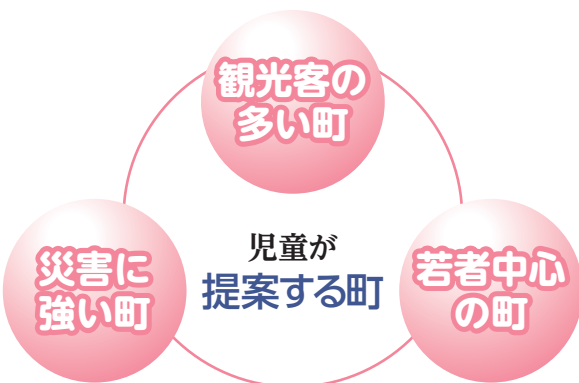


議員からの質問に答える児童



町の未来を考えた、小川小6年生の皆さん

町の問題点は、**人口減少・少子高齢化**  
コロナで観光客が減少、自然の驚異も原因



## 議会を傍聴しませんか

次の定例会は、

- |         |          |
|---------|----------|
| 2月9日(木) | 町長施政方針演述 |
| 27日(月)  | ～3月1日(水) |
|         | 条例補正予算審査 |
| 3月2日(木) | 一般質問     |
| 3日(金)   | 一般質問     |
| 7日(火)   | ～10日(金)  |
|         | 新年度予算審査  |
| 10日(金)  | 本会議      |

の予定です。

※都合により変更となる場合があります。

表紙の新シリーズ

## キラッと光る人

7年に渡って議会だよりの表紙を飾ってきた大家族シリーズは199号で終了。

光る議会だより」を目指し作成していきます。これからも取材へのご協力をよろしくお願ひします。

町で頑張っている人や活躍している人、その道で輝いているなど「キラッと光る人」をシリーズで紹介していきます。キラッと光る人に負けないよう「キラッと



輝く笑顔の内村貴喜さん

## 編集後記

▽前回の200号でこれまでの議会だよりを振り返り、改めて町の皆さんの協力に支えられていると実感しました▽議会活動をする中で、多くの声を聴き町政に生かすことはとても重要です。前号では、議会だよりや議会活動に大切な提言をいただきました。肝に銘じ、さらに精進して行く覚悟です▽本号から新たにスタートした「キラッと光る人」シリーズが表紙を飾ります。取材依頼の際はよろしくお願ひします▽これからも皆さんとともに、親しまれる議会だよりの作成に励んでまいります。

広報広聴常任委員  
畠山 昌典

## 広報広聴常任委員会

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 千葉 泰彦  |
| 副委員長 | 佐藤 安美  |
| 委員   | 八重樫 龍介 |
|      | 坂本 昇   |
|      | 畠山 和英  |
|      | 畠山 昌典  |



古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と、森林の再生に取り組む岩手県岩泉町との連携により実現した「森の町内会一問伐に寄与した紙」を使用しています。

